| 実施教員 | 所 属 | 看護学科 |
|------|------|-----------|
| 关肥教員 | 職・氏名 | 准教授 森田亜希子 |

| テーマ | 父親・母親としての役割 | 割と出産後の子育て ー | 看護者としての支援一 | | |
|------------------------------|---|------------------|--------------------|--|--|
| 実施目標 (高校生に何を学 んでもらうか等) | ・赤ちゃんのもっている能力や特徴を知ってもらう。・出産後、退院してから自宅で赤ちゃんとどのような生活をするのか、 父親として、母親としての役割について知ってもらう。・妊娠・出産・育児を支援する看護師・助産師の役割を知ってもらう。 | | | | |
| 授業内容の要旨 | ・核家族化、女性の社会進出等、現在の子育て環境について説明する。 ・新生児の能力と親との相互作用について説明する。 ・赤ちゃんがいる生活はどのようなものか、父親・母親の役割とは何かについて説明する。 ・上記を踏まえて、自分たちはどんな親になりたいかを考えるきっかけを提供し、子育ての大切さを考えるようにする。また、それを支援する看護職者の役割について説明する。 | | | | |
| 授業形態 | ☑講義 | 実習 | 演習 | | |
| | 30 名程度 | | | | |
| 対象人数 | 30 名程度 | | | | |
| | 30 名程度 ☑ プロジェクター | ☑スクリーン | ☑パソコン (パワーポイント) | | |
| 対象人数 必要機材 | | ☑スクリーン その他() | | | |